

特定非営利活動法人 北海道市民環境ネットワーク 2014年度事業報告

2014年4月1日～2015年3月31日

I. 事業実施の方針

北海道のめぐみ豊かな自然環境を、子どもたちの未来へ引き継ぐために、環境保全に取り組む市民活動のネットワークを築き、環境保全団体の基盤強化及び支援を行うとともに、企業及び行政とのパートナーシップの構築を図り、北海道の環境保全に寄与することを目的とし、下記の事業を実施する。

II. 事業の実施に関わる事項

事業名	事業概要	事業報告
<p>1 環境保全活動のネットワーク構築に関する事業</p>	<p>(1)きたネットフォーラム 北海道の自然環境保全活動に取り組む市民への情報発信と交流・ディスカッションの場として「きたネットフォーラム」を年1回開催。市民団体・学術・行政・企業等との連携により、北海道の環境活動の指針となる情報の発信と、パートナーシップの構築の場をめざす。</p> 	<p>■きたネットフォーラム2014 テーマ「北海道の環境教育の現状と課題～これから」 日時/12月6日(土) 会場/札幌市教育文化会館 参加者/80名(会員37名、一般25名、スタッフ・講師18名)、録画視聴数/93(公開1/10～3/25) 内容/基調講演、パネルディスカッション、ワークショップ、 主催/きたネット、セブン-イレブン記念財団 共催/環境中間支援会議・北海道(一部/北海道環境教育等推進協議会、北海道) 成果/参加者は目標数に至らなかった。原因としては関係団体の行事が同日に多数開催されていたこと、札幌市環境局主催の環境教育イベントが同日に開催されたことなどが理由と考えている。参加者の本フォーラムの評価はたいへんよかった。課題解決のための情報提供、状況の共有、新しいネットワークの場づくりという、フォーラムの役割は果たせたという実感がある。(参加者からの感想:社会状況の変化の中で環境教育の必要性がさらに高まっている。その意識が「見える化」される機会となった。)北海道の環境教育を推進するための新しい活動を進める必要性を感じた、次のアクションを起こす良いきっかけになった。</p> 
<p>(2)ネットワークの整備・拡大の推進</p>	<p>a.会員獲得活動 セミナー等の機会、DMや広報誌の配布などにより、会員獲得活動を行う。</p> 	<p>会員数:2015年3月31日現在(昨年比) 正会員 63団体(+8)、15個人(-2) 賛助会員 66個人(+3)、17企業・団体(+2) ○入会 正会員/NPO法人あそベンチャースクール、いしかり海辺ファンクラブ、北海道エネルギーエッジ100ネットワーク、いしかり森林ボランティア「クマゲラ」、NPO法人北海道ツーリズム協会、カッコウの里を語る会、一財)湿原研究所、藤井賢彦研究室、NPO法人札幌カラス研究会、個人1名 賛助会員/五島冷熱(株)、(株)地域環境計画北海道支社、(株)櫻井千田、公財)知床自然大学院大学設立財団、カサシマ建設(株)、個人4名 ○退会 正会員/公財)オイスカ北海道支部(休会)、個人2名(うち1名賛助企業で入会) 賛助会員/東亜建設工業(株)北海道支社、山岡さんファミリー、個人2名(うち1名正会員団体へ移行)</p>
<p>b.各種外部組織との協力</p>	<p>ネットワークの拡大を図るため、各種外部イベント、委員会、事業連携などに参加、協力する。</p>	<p>○産学官民との協力継続・強化 (株)リクルート(活動相談)、秋山・前田財団助成団体合同発表会(撮影配信)、新渡戸稲造と札幌遠友学校を考える会(撮影配信)、北海道再生可能エネルギー振興機構シンポジウム「北海道における再生可能エネルギーの展望」、環境道民会議ウィンターミーティング(ワークショップ)、環境省公募説明会(撮影配信)、他 ○委員会、協議会等の参加・協力 森林管理局会議、環境道民会議(総会、企画委員会)、北海道環境教育等推進協議会、札幌市環境審議会、札幌市環境保全協議会、環境RCE(ESD拠点)設立のための会議、洞爺湖エゾシカ対策協議会、森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会、海岸漂着物協議会、北海道再生可能エネルギー振興機構との連携実行委員会、他</p>
<p>c.活動の基盤強化</p>	<p>・運営基盤強化の事業のための事業の企画・検討。</p>	<p>○助成金獲得 協定による運営助成・きたネットフォーラム・助成セミナー・ラブアース(セブン-イレブン記念財団)、ラブアース(石狩川振興財団)、ラブアースの森づくり(北海道森と緑の会) ○寄付金 (株)KDDI、ダンロップタイヤ北海道(株)、住宅エコポイント、木材利用ポイント、ラブアース協賛金(27企業・団体、1個人)、他 ○地域企業との連携の強化 「ファイターズ×ラブアース」事業(日本ハムファイターズ)、あすもり基金事務局業務(コープさっぽろ)、Fの森WS事業(雪印種苗)、森林・山村多面的機能発揮対策事業(森林・山村多面的機能発揮対策協議会)、道産材材活用事業(林業木材産業対策協議会) ○その他 省エネ住宅ポイント事業の寄附対象団体登録</p>

	d.その他(他団体活動視察等)	環境活動を行う市民活動団体、行政機関、企業等について視察を行い、会員拡大や、ネットワークの活性化促進、パートナーシップの構築等に活用する。	ハウススタジオアップデートワークショップ(札幌市環境プラザ)、環境白書を読む会(環境省)、小川巖さんに聞く!北海道の自然のこと(札幌エルプラザ情報センター)、ポスト2015開発アジェンダ勉強会(EPO北海道)、日本湿地学会シンポジウム(日本湿地学会・環境財団)、北海道e-水フォーラム(北海道)、北海道海ごみポイ捨て防止大会(北海道)、森林づくりと生物多様性保全(日本森林学会)、シンポジウム風力発電を考える(自然保護協会)、SAPPROヒグマフォーラム(札幌市)、北海道ゼロ・エミ大賞受賞者による廃棄物の発生・排出抑制の取組(廃棄物資源循環学会)、秋山財団贈呈式、他
	(3)情報提供活動の充実	a.広報紙「きたネット」発行 b.「きたネットNEWS」発行 c.「会報」の発行(年1回) d.ホームページ等インターネットの活用	活動の内容の周知を目的に、広く一般への広報ツールとして広報紙「きたネット」の発行・活用。会員、道内環境団体、一般に配布。 紙媒体。会員間のコミュニケーションの強化を主目的に「きたネットNEWS」を発行。イベント告知・報告、会員活動案内等の内容。会員、行事参加者等に配布。 きたネットの各年の活動報告、決算、事業計画、予算、総会議事録、会員名簿などを掲載した「会報」の発行。会員、後援団体、助成団体等に配布。 会員、環境活動を行う市民活動団体、行政、企業、市民、広く一般に向け、インターネットを用いた情報交流の促進を行う。 合計3回、各250部発行(会員と協力施設に送付、各種イベント等で配付) 200部発行(会員に送付、その他助成申請時等に使用)
	(1)会員活動の支援	a.活動ノウハウの提供 b.活動データベースの提供 c.会員サービスの充実・新規開発 d.会員活動訪問・取材	会員相談の随時対応。きたネットカフェの開催など。 相談対応/知床自然大学院大学設立財団(フォーラム開催の広報)、ホームマック(株)(CSR西興部村の植樹活動の対策) ■きたネットカフェ 「土佐の森方式 自伐林業のススム」 日時/11月2日(日) 会場/かでの2.7 参加者/一般25名、講師スタッフ5名 「企業CSRの新しい形〜コープ未来の森づくり基金×雪印種苗」 日時/2月10日(火) 会場/きたネット事務所 参加者/一般9名、講師スタッフ7名、録画視聴数/72(2/10~3/25) 自主事業(ラブアース、きたネットフォーラム、助成セミナー)のPRのほか、森林山村説明会広報(2回)、コープ助成申請・森づくり交流会広報、知床自然大学院大学フォーラム広報 ・「E☆navi北海道」会員活動掲載150回 ・外部メディアを使った会員活動紹介/ 「あ・そ・ぼ」(9回)、北海道エコアクション「エコカレンダー」(25回)、 「きたネットラジオカフェ」放送(6回) ・行事等後援・協力/ 環境学習フォーラム北海道、前田一步園財団、知床大学院大学設立財団 ・行事チラシ等の送付/ 会員宛て送付物に同封、主共催や協力イベント時配布、協力施設へ配布 ・プロジェクター貸出/スローフード・フレンズ北海道、他 ・会議スペース提供/ 間伐ボランティア「札幌ウッドィーズ」、北海道エネルギーチェンジ100ネットワーク NPO法人EnVision環境保全事務所(ヒグマ痕跡調査体験)、スローフードフレンズ北海道(トク会)、知床自然大学院大学設立財団(フォーラム)、NPO法人北海道海浜美化をすすめる会(フォーラム)、NPO法人八剣山エコケータリング、黒松内ぶなの森自然学校、大沼流山森づくりネットワーク、認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト
2 環境保全活動を支援する事業	(2)環境活動支援のためのセミナー等の開催事業	a.講演会等の開催	会員、一般を対象に、北海道の環境の現状や課題について学びあう講演会や活動交流会、セミナー等を実施する。 ■きたネットセミナー2014「安全なエネルギーと食、北海道の明日を動かす力」 日時/5月17日(土) 会場/かでの2.7 参加者53名(会員37名 一般16名) ・講演/「市民が選ぶ・市民がつくる。再生可能エネルギーの地産地消を北海道から」 ・会員活動紹介/NPO法人八剣山エコケータリング、スローフード・フレンズ北海道



	<p>b.セミナーその他の開催</p> <p>市民活動助成セミナー・助成団体会議の開催。 環境活動を行う市民活動団体を主な対象に、活動資金・人材・手法に関する情報提供セミナー等を開催する。会員、環境市民活動団体、行政機関の職員等が対象。また、助成団体に呼びかけ情報交換を目的とした会議を開催する。</p> 	<p>■札幌・きたネット発 市民活動助成セミナー2014 日時/11月8日(土) 会場/札幌エルプラザ 参加者/38名(会員11名・一般27名)、録画視聴数/188(11/20~3/25) 内容/助成制度活用講座、助成制度説明、個別相談会 主催/きたネット、セブンイレブン記念財団 共催/環境中間支援会議・北海道成果/小規模NPO、任意団体に広報範囲を広げたところ、助成申請を経験したことのない団体の参加が増えた。助成制度活用講座は最近の傾向が体系的に理解できたと好評だった。参加者は目標に至らなかった。戸外活動が可能な時期であったこと、道外の講師であったこと、複数の会員団体が関わる大規模イベントが同日に開催されていたことが理由と考えている。録画は視聴者が順調に伸びている。</p> <p>■北海道助成サミット2014(助成セミナー終了後に開催) 内容/助成制度運営についてのディスカッション 参加者/15名(10団体) 成果/事例発表方式をやめたこと、2回目ということもあり、参加者が積極的に情報発信した。申請通り活動が行われているかの確認方法、助成金支払時期の違いとその理由、複数団体の合同報告会開催の有益性など、有意義な情報交換が活発に行われた。</p> 
<p>3 環境保全活動に関する事業</p>	<p>(1)ラブアース・クリーンアップin北海道</p> <p>a.ラブアース・クリーンアップin北海道2014</p> <p>環境分野における北海道民の連帯感を高め、身近なごみ問題から地球環境問題への啓発につながる全道一斉清掃運動の実施。HP等の充実をはかり、各団体のごみ拾い情報(イベント開催、参加者募集、結果報告等)を提供する。参加団体の個別ページを掲載し、パートナーシップの構築を図る。</p> 	<p>■ラブアース・クリーンアップin北海道2014 参加期間/4月1日(火)~11月30日(日) 参加数/1079企業・団体、36886名 イベント開催 ・「オープニング!ごみ拾い」日時/4月19日(日) 参加者数/66名 ・「ごみ拾いピーチウォーク」日時/6月1日(日) 参加者/514名 共催/NPO法人北海道海濱美化をすすめる会 成果/web登録制にしたことで、参加者が減少した。一方、CSR活動や事業、イベントを毎年登録してくれる企業や団体も増えた。身近なごみ拾いが環境を守る意識を向上につながった。のぼりを携帯してもらうことで活動を促し、活動を見た(知った)人にも環境保全の啓発を实践できた。「ラブアースの森づくり」の実施等、より広い視野の環境活動につながった。メディア等により活動が認知され、相談や問い合わせ、協力の依頼等が増加した。</p> 
<p>b.ファイターズ連携事業</p> <p>ファイターズジュニア王座決定戦に参加する少年野球チーム関係者を対象に、環境教育や環境活動の啓発を図る。</p> 	<p>■ファイターズ×ラブアース事業 実施期間/4月~8月 内容/ごみ拾い活動の推進 参加者/83チーム・2800名 共催/北海道日本ハムファイターズ 成果/普段の活動地のごみ拾い活動から地元を大切に北海道の自然を守る気持ちを持ち、子どもたちの環境教育につながる活動になっている。</p> 	
<p>(2)森づくり事業</p>	<p>a.ラブアースの森づくり事業</p> <p>きたネット主催・共催の育樹事業の実施。</p> 	<p>■ラブアースの森づくり in 札幌 日時/5月23日(金)、6月15日(日)、7月15日(火)、8月10日(日)、10月22日(水) 開催地/札幌市茨戸川緑地公園 内容/根踏み、下草刈り3回、枝打ち のべ参加者数/78名 共催/NPO法人森林遊びサポートセンター</p> <p>■ラブアースの森づくり in 白老 日時/10月11日(土) 開催地/白老町 内容/除伐・間伐作業、ウヨロ川のフットパスウォーク 参加者数/34名 共催/NPO法人ウヨロ環境トラスト</p> 
<p>b.森づくりネットワーク事業</p> <p>(1)会員の森づくり情報を中心としたポータルサイト「森づくり★ナビ北海道」を核に森づくりネットワークを構築する。</p> <p>(2)その他</p>	<p>「森づくり★ナビ北海道」の運用:活動情報収集・掲載</p>  <p>Fの森ワークショップ協力(ワークショップ、現地視察等、事務作業他)、喜茂別森づくり事業協力(事務補助他)</p> 	

4 そ の 他 事 業	(1)受託事業	各種事業の受託  	<ul style="list-style-type: none"> ■Green Giftプロジェクト事業:「親子で参加しよう、自然体験プロジェクト」開催 共催/スローフード・フレンズ北海道 田植え(三笠)5/31参加者46名、 森の自然観察(札幌)8/17参加者33名、 森歩きと川遊び(占冠)9/13参加者23名、 じゃがいも収穫(新得)9/28参加者53名 (Green Giftプロジェクトは日本NPOセンター主催 ・EPO共催・東京海上日動火災保険(株)協賛) ■森林山村対策事業:説明会、報告会開催運営協力 ・説明会 全道4か所(2/24札幌:39名、5/29旭川:30名、 5/30北見:15名、6/3函館:11名、6/5帯広:18名) 参加者/のべ113名 ・報告会、森づくりネットワークの集いブース出展 日時/10月18日(土) 会場/道庁赤レンガ 参加者/一般参加者66名、発表団体から15名、計81名 主催/北海道森林山村多面的機能発揮対策地域協議会 ■道産木材活用イベント事業:「きたのき文化祭」開催運営協力 日時/3月14日(土)～15日(土) 会場/サッポロファクトリーアトリウム 主催/北海道林業・木材産業対策協議会、北海道 企画運営/きたネット、NPO法人ezorock   
	(2)「環境 中間支援 会議・北 海道」他 との協働	a.協働 事業の 推進 札幌の4中間支援団体の協力により、より効率的な中間支援の協働を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境☆ナビ北海道」HPの運用・情報提供 ・会議、勉強会参加 ・環境中間支援会議・北海道主催/シンポジウム「これからの環境教育のあり方～藤田郁男さんの功績と思いをつないで～」、「札幌市温暖化対策推進計画(案)パブコメWS」 ・共催/「札幌市エネルギー・ビジョンパブコメWS」
		b.産学 官民と の連携	北大との連携による事業の推進 「もうひとつの北海道環境白書」2012・2販売・広報
	(3)コープさっぽろ 「未来の森づくり基金」受託事業	・植樹・育樹活動に関する事務局業務 ・助成制度運用に関する事務局業務 ・運営委員研修、森づくり交流会企画	<ul style="list-style-type: none"> ・植樹祭、育樹会、視察研修、「北海道の森づくり交流会」の実施にかかる業務 ・助成制度関連業務、・広報関連(「モリ・イク」「あすもりサポーター通信」企画・製作) ・会議/事務局会議、運営委員会、助成審査委員会   
	(4)エネルギーチェンジの推進	・「北海道条例第八号「北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例」の周知・推進。 ・自然エネルギーへの転換・節電・創電・省エネ等について市民啓発活動を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ■「市民のエネルギーチェンジ研究会」の開催 ・「市民のエネルギーチェンジ研究会in芦別」 日時/2月21日(土) 会場/星のふる里100年記念館 参加者/一般14名、講師スタッフ7名 ・「市民のエネルギーチェンジ研究会in浜中」 日時/3月26日(木) 会場/霧多布湿原センター 参加者/一般36名、講師スタッフ9名 共催/北海道エネルギーチェンジ100ネットワーク 連携/北海道再生可能エネルギー振興機構  
(5)その他	・きたネットのネットワークを活用した新規事業の開拓・展開。 ・その他	■きたネットラジオカフェ(ゲスト) 間伐ボランティア「ウディーズ」(5/1)、スローフード・フレンズ北海道(7/2)、いしかり海辺ファンクラブ(10/1)、あそベンチャースクール(11/5)、山のトイレを考える会(1/7)、北海道森林ボランティア協会×ezorock(3/4)	

2014年度 寄付をいただきました。(敬称略)

KDDI株式会社、ホームマック株式会社、ダンロップタイヤ北海道株式会社、公益財団法人日本賃貸住宅管理協会北海道ブロック、公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会北海道支部、全国賃貸管理ビジネス協会北海道支部、一般社団法人札幌空調衛生工事業協会、一般社団法人日本路線トラック連盟、株式会社スーパーライン北翔、北陽ビジネスフォーム株式会社、ダンロップ北海道株式会社、北日本測地株式会社、笹木産業株式会社、札幌工業株式会社、櫻井千田株式会社、石上車輛株式会社、株式会社セクト、株式会社江上、株式会社リロケーションシステム、伊丹車輛株式会社、丸利伊丹車輛株式会社、川正染工株式会社、親切会北海道支部、山本建設株式会社、パナソニックシステムネットワーク株式会社、株式会社ドーコン、ソリトンコム株式会社、株式会社ファズ、株式会社コスト削減総合研究所 北海道、三井住友海上火災保険株式会社、草野芙美子、ほか募金等